

み え けん  
三重県 心のノート

小 学 校 3 ・ 4 年

三重県教育委員会

## みなさんへ

みなさんは、大きくなったらどんな人になりたいですか。

一人ひとり、いろいろなゆめや目ひょうがあると思います。

そのゆめや目ひょうをかなえるためには、あきらめずにねばり強くがんばることが大切です。

いのちを大切にすること、人への思いやりの心をもつこと、ありがとうの気持ちを伝えること、約束や決まりを守ることなども、大切です。

みなさんが住んでいる地いきのすばらしさも見つけてください。

このような願いをこめて、「三重県 心のノート」をつくりました。

この本には、みなさんが住んでいる三重県の自然や文化、地いきの発てんにつくした人物などについてかかれています。

道とくやいろいろな学習の時間に、この本を読んで、三重県のすばらしいところを知ってください。

また、感じたことや考えたことを友だちと伝えあい、自分や友だちのよいところを見つけてください。

そして、みなさんの心を大きくゆたかにしてください。

平成 26 年 3 月

三重県教育委員会



こくげん ひ かげいし <b>刻限日影石</b> .....	1
くらしや <sup>いのち</sup> 命を <sup>まも</sup> 守る工夫	
おおだいちゃ <b>大台茶</b> .....	5
「伊勢茶」の味は <sup>あじ</sup> 三重の味 <sup>でん</sup> 伝とうの味	
しんじゅおう <sup>み</sup> き <sup>もと</sup> こうきち <b>真珠王 御木本幸吉</b> .....	9
ゆめをあきらめず <sup>しんねん</sup> 信念をつらめく	
あ のり <sup>しばい</sup> <b>安乗の人形芝居</b> .....	13
<sup>でん</sup> 伝とうを守る <sup>つた</sup> 伝とうを伝える	
み の は た <sup>み</sup> は た <sup>ひら</sup> <b>美濃波多 (美旗) 新田を開く</b> .....	17
今も活やく <sup>え</sup> 知恵を出し合い <sup>ろ</sup> つくった水路	
おわせ <b>尾鷲ヒノキ</b> .....	21
自然に感謝し <sup>ぜん</sup> 自然とともに生きる	
もろ と ぶね <sup>み</sup> ふねまつり <b>諸戸船・御船祭</b> .....	25
<sup>むかし</sup> 昔のすがたを今に <sup>き</sup> 木でつくられた船	

み え けん  
三重県

# 心の ハート

小学校3・4年

# いのち まも くふう くらしや命を守る工夫



## こくげん ひ かげいし 刻限日影石



いなべ市に、「刻限日影石」という石ひがあります。「刻限日影石」は、日時計（時こくによって、かげの向きが変わることを利用した時計）の役目を果たす石ひです。「刻限日影石」が建てられたわけや、建てた人々の気持ちを考えてみましょう。



刻限日影石（いなべ市教育委員会提供）

## 新しい田んぼをつくろう

今から400年ほど前の江戸時代のころ、員弁町（現在のいなべ市員弁町）あたりは、桑名（現在の桑名市、当時、おしろがあった）のおとのさまが、おさめていました。

米をたくさんつくりたい村人たちは、新田開発（土地を切りひらき、新しく田をつくること）のおゆるしをおとのさまに願い出ました。そして、おとのさまのおゆるしが出て、新田開発が進められました。

村人たちは、米をたくさん作ることができ、喜びました。新しい田んぼがふえ、米がたくさんできるようになる、村人もふえ、村はにぎやかになりました。



土地を切りひらいて、新しく田をつくる村人たち

## ため池を大きくして、より多くの水を

田んぼがふえると、それだけ水もたくさん必要になります。水が足りなくなったので、村人たちは、「のま池」という古くからあるため池を、大きくつくりなおしました。村人の多くの努力で「笠田おおだめ」ができたのです。

しかし、ため池のていぼうが何度も切れることがありました。ていぼうが切れると、田んぼが水びたしとなり、いねがまったく実らなくなってしまう。

村人たちは何度もため池のていぼうをなおしました。



切れたていぼうをなおす村人たち

## 田んぼに水がほしい

また、日でりが長く続くと、ため池の水もなくなり、田んぼは水不足になってしまいました。

これでは、いねは育ちません。どの村の人たちも、自分たちの村の田んぼに水を引きたくてたまりません。村人たちは、ため池の水を取りあうようにして、田んぼに水を引いていました。



日でりにくるしむ村人たち

## 水争いでなくなった文治さん

とうとう、村どうしの水争いがおこってしまいました。水を取りあいするなんて、今では思いもよらないことかもしれません。もちろん、水は今でも生活にかかせない大切なものです。しかし、米作り中心の昔のくらしの中ではとにかく水が大切でした。「水のことでは、親子や兄弟でも、けんかが起こる。」と言われるほどでした。



村と村の水争いで「くわ」や「たけやり」をもったたたかう村人たち

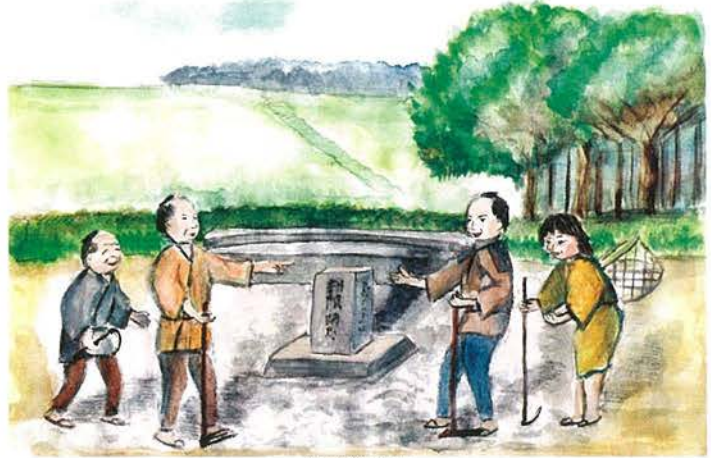
そして悲しいことに、文治さんという村人がなくなってしまったのです。村人は、文治さんのおはかをつくり、こんなことが二度と起こらないでほしいと願いました。

- やくそくやきまりを<sup>まも</sup>る
- ふるさとのよさを見つけて<sup>たいせつ</sup>大切に

## あらす 争うよりも水を分け合うことを

その後、「<sup>こくげん ひ かげいし</sup>刻限日影石」が、ため池近くにつくられました。石のかげを見ると時こくがわかり、近くのお寺で時こくを知らせるためのかねを鳴らしました。

こうして昼間に水を入れる村と、夜間に水を入れる村を<sup>き</sup>決めて、水をきちんと分け合うことにしたので、水争いはほとんど<sup>お</sup>起きなくなりました。



ため池の近くつくられた<sup>こくげん ひ かげいし</sup>刻限日影石

「みんなでつくるわたしたちのいなべ市」(いなべ市教育委員会) から作成

## 考 え て み よ う

- 1 村人たちが<sup>くろう</sup>苦勞して新田<sup>かいはつ</sup>開発を行ったのは、どんなことを<sup>ねが</sup>願ったからですか。
- 2 田んぼがふえて、村人たちの願いは、かないましたか。
- 3 水争いが起こる前、日<sup>つづ</sup>でりが長く続いて水不足になったとき、村人たちはどんなことを考えていたと思いますか。
- 4 あなたは、村人たちが「<sup>こくげん ひ かげいし</sup>刻限日影石」を<sup>た</sup>建て、水を分け合う<sup>やくそく まも</sup>約束を守り続けたことをどう思いますか。
- 5 あなたの地<sup>むかし</sup>いきで、昔から<sup>つた</sup>伝えられているお話はありますか。<sup>しら</sup>調べてみましょう。

# 「伊勢茶」の味は 三重の味 伝とうの味



おおだいちょう 大台町

## おおだい 大台茶

お茶の生産が多い三重県の中でも、大台町は有数のお茶の産地です。大台茶をはじめとした三重のお茶（伊勢茶）の特色や、いろいろなお茶の伝とうや文化について考えてみましょう。



## おおだい 大台茶の歴史

大台町でお茶が生産され始めたのは、今から約800年前といわれています。大台茶は、全国茶品びょうで何度もゆうしゅうな成せきをおさめ、大台町は高級なお茶の産地として有名になりました。



おおだいちょう 大台町のお茶畑の様子 (大台町提供)

## 自然の中で育つ大台茶

きれいな水が流れる宮川流域では、気温の差によって、こい「きり」が発生します。「きり」はお茶の葉の生育によいとされています。

冬になり、山から冷たい風が吹き込むと、お茶の葉の表面は「しも」とよばれる細かな氷におおわれます。大台町のお茶農家の人たちは、真っ白になった大切なお茶畑を見守りながら、お茶が新芽を出す春を待ちわびます。

「きり」に抱かれ、風に吹かれ、農家の人たちのまごころがこめられ、味わい深い、かおり高い大台茶は育まれていくのです。



「きり」がかかった大台町の冬のお茶畑の様子 (大台町提供)

## きびしい自然とのたたかい

春から初夏の時期にも、夜に冷えこみが続くと「しも」が付くことがあります。この時期のお茶のわか葉に「しも」が付くと一晩でかれてしまい、大きなひ害が出ます。これは大台町だけではなく、三重県や全国各地の茶をさいばいする農家の大きななやみです。



しもが付いたお茶の葉の様子 (大台町提供)

## 自然に負けない知えと工夫

「しも」のひ害をふせぐ方法の開発に成功したのは、三重県農業研究所の横山俊祐さんでした。横山さんの考えたそう置は、大きなせんぷうきのようなものです。

このそう置は、地面から約5〜7メートルほどの高さにそなえ付けられます。「しも」が付くほど冷えこみがきびしくなると、自動的にスイッチが入り、空気を下へふきつけます。高いところの空気は、地面の近くより4〜5度あたたかいため、お茶の葉につく「しも」をふせぐことができるのです。今ではこのそう置のせっ置が進み、「しも」のひ害は少なくなりました。

大台町や三重県のお茶の産地をはじめ、今では全国のお茶畑で見かけるこのそう置は、三重県のほこる大発明の一つなのです。



「しも」をふせぐためのそう置 (大台町提供)



三重のお茶「伊勢茶」の人気のひみつ！

### 深むし茶

松阪市や大台町などでは、お茶の葉をむす時間をふつうより少しだけ長くして、まろやかな味を出す工夫をしています。



「大台茶」の葉（「大台町観光協会」提供）

### かぶせ茶

四日市市・鈴鹿市・亀山市などでは、黒いおおいで日光をさえぎり、あざやかな緑色のまろやかなうま味のあるお茶を育てます。



「伊勢茶」のペットボトル（「三重県茶業会議所」提供）

### 加工される伊勢茶

ペットボトルやアイスクリームなどの原料として使用される量は全国1位です。大台町でも、お茶を使ったおかしづくりに取り組んでいます。

## お茶のあれこれ

（お茶について調べた なおきさんたちの会話）

なおき：お茶の葉は、いいかおりがするよね。お茶は、つんだ茶の葉を熱で加工するから、かおりがよくなり、おいしくなるんだって。

あき：それは「緑茶」の場合よ。イギリスなどで好まれている「紅茶」などは、熱で加工しないけれど、かおりもいいし、おいしいわ。

- 文化に親しんで国を愛する
- ふるさとのよさを見つけて大切に

おさむ：中国で生産されているウーロン茶などのように、最初は熱を加えないけど、時間をおいてから熱を加えてつくるものもあるよ。

なおき：ひとくちにお茶といっても、葉をつみ取ってからの加工の方法はさまざまだね。

おさむ：加工の方法や品種や産地によって、味、かおり、色などはことなるけれど、それぞれによいところがあるよね。

なおき：ぼくの家では 毎日、食事のときやくつろぐ時にお茶を飲むよ。

おさむ：うちは、お客さんが来た時に、お茶を出すよ。

あ き：さまざまな違いはあるけど、お茶は日本以外の世界のさまざまな国や地いきでも、古くから親しまれてきた飲み物だよ。

「三重県茶業史」(三重県茶業会議所)、ほかから作成

## 考 えて み よ う

- 1 大台茶はどんなところでつくられていますか。
- 2 お茶を育てる農家の人は、どんな苦労や工夫をしていますか。
- 3 大台茶などの伊勢茶には、どんな人気のひみつがありますか。
- 4 日本や世界には さまざまなお茶があります。それぞれのお茶のよさについて、話し合ってみましょう。
- 5 毎日の生活の中で、どんなときにお茶を飲みますか。また、そのとき、お茶はどのような役わりを果たしているか話し合ってみましょう。
- 6 日本の文化や日本に入ってきている外国の文化について調べ、そのよさや特色について考えてみましょう。



鳥羽市

# ゆめをあきらめず

しんじゅおう 眞珠王  
み き もと こう き ち 御木本幸吉

御木本幸吉は、世界で初めて真珠の養しよくに成功しました。

真珠の養しよくに一生をかけて取り組んだ御木本幸吉の生き方について考えてみましょう。



真珠は、貝からとれるほう石の一つで、ネックレスや指輪として有名です。天然真珠は、昔から日本だけでなく世界中でも、めったにとれない貴重なもので、大変高価なものとしてあつかわれてきました。

## 御木本幸吉の一生

御木本幸吉は、1893(明治26)年に世界で初めて真珠の養しよくに成功しました。最初は、アコヤガイにひつついた半円の真珠でしたが、研究を続けて美しく真ん丸の真珠を作りだしました。



真珠のせい品 (ミキモト真珠島提供)



アコヤガイの中で育った真珠 (ミキモト真珠島提供)

# しんねん 信念をつらぬく

鳥羽のうどん屋の長男として生まれた幸吉は、さまざまな商売をする中で、志摩の名産だった真珠に注目しました。初めは真珠貝をふやすこと、やがて真珠そのものの養しよくへと努力や失敗をくり返しながら、「自分の作った真珠で世界中の女せいを美しくかざりたい」というゆめの実げんに向かって進んでいきました。養しよく真珠を作るだけでなく、養しよく真珠のすばらしさを世界にみとめさせることにもずいぶん苦労しました。ヨーロッパでは、養しよく真珠のすばらしさがみとめられずにさいばんが起こされました。

さいばんの結果、養しよく真珠が天然真珠と変わらないことがしょう明され、世界中で本物だとみとめられることになりました。



御木本幸吉 (ミキモト真珠島提供)

御木本幸吉の歩み

西暦	幸吉の年齢	主なできごと
1858	0	・御木本幸吉生まれる。
1871	13	・うどん屋を手伝いながら食料品をあつかう商売を始める。
1881	23	・うめと結こんする。
1888	30	・真珠貝の養しよくを始める。
1892	34	・赤しおが大発生して、実験中の真珠養しよくの貝が全めつする。
1893	35	・半円の真珠が完成する。 ・真珠養しよく場をつくる。
1896	38	・うめがなくなる。
1899	41	・東京に御木本真珠店を開く。
1905	47	・大きな赤しおが発生する。 ・真ん丸の真珠が完成する。
1953	95	・御木本真珠島に御木本幸吉の銅像が建つ。
1954	96	・御木本幸吉なくなる。

しま 尊徳に  
志摩の

幸吉がそんけいしていた人物に二宮金次郎（尊徳）がいます。尊徳は日夜仕事と勉強にはげみ、のちに農村の指どう者として多くの人びとに感しゃされ、そんけいを集めた人物です。幸吉と尊徳は、まずしさのために苦労したことや、努力家だったところが、にっています。幸吉は、「志摩の尊徳になりたい」と、伊勢神宮の内宮と外宮を結ぶ御木本道路をはじめ、能見坂トンネル・深谷水道などの建せつに協力し、地いきの発てんにもつくしました。



にのみやきんじろう そんとく そう  
二宮金次郎（尊徳）の像  
(鳥羽市立加茂小学校提供)



みきもとかうきち どうぞう  
御木本幸吉の銅像  
(ミキモト真珠島提供)

「真珠王からのメッセージ」(株式会社御木本真珠島)、ほかから作成

ふか 深めよう!! 御木本幸吉  
~ひとくちメモ~

## 世界の発明王エジソンとの出会い

電灯とう、ちく音機き、えい画など多くのすばらしい発明はつをなしとげたエジソンは、幸吉こうきちが最ももっとそんけいする人物ぶつでした。幸吉こうきちは、ニューヨークにあるエジソンの自たくをたずねた時、美しい養うつくしよく真珠しんじゆをエジソンにプレゼントし、発明はつしたぎじゅつについてくわしく話しました。

エジソンは、「わたしの研究所けんきゅうしよでできなかったものが2つある。それは、ダイヤモンドと真珠である。あなたの発明は世界のきょういです。」と幸吉こうきちの業ぎようせきをたたえました。

幸吉こうきちは、そくざに、「いや、あなたが発明界の月なら、わたしは数多い星の1つにすぎません。」とエジソンにこたえたといひます。

「真珠王からのメッセージ」(株式会社御木本真珠島)、ほかから作成

### 考 えて み よ う

- 1 真珠とは、どんなほう石のことでしょうか。
- 2 御木本幸吉み きもとこうきちが、真珠王とよばれるまでには、どんなことがありましたか。
- 3 御木本幸吉み きもとこうきちが、真珠王とよばれるまでになれたのは、どんな人だったからだと思いますか。
- 4 養うつくしよく真珠が世界中で本物だとみとめられることになったとき、御木本幸吉み きもとこうきちはどう思ったと思いますか。
- 5 御木本幸吉み きもとこうきちが、御木本道路などの建せつけんに協力したのはどうしてだと思いますか。
- 6 あなたは、目標ひようを決めて、その目標むに向かってできるまで、あきらめないでがんばったことはありますか。
- 7 御木本幸吉み きもとこうきちが、エジソンをたずねたとき、どんな気持もちだったでしょうか。

- ふるさとのよさを見つけて大切に
- 友だちと仲よく助け合って

# でん まも つた 伝とうを守る 伝とうを伝える



志摩市

## あ のり しばい 安乗の人形芝居

志摩市では、人形芝居が400年以上前から受けつがれてきています。どうして、400年以上も受けつがれているのでしょうか。



安乗の人形芝居は、安乗神社のお祭りで行われる人形芝居として受けつがれてきました。

以前に一時、行われなくなったことがありましたが、地いきの人たちにより、1951年からふたたび行われるようになりました。毎年9月15日・16日に安乗神社の境内の舞台で行われます。



安乗神社の祭りでの人形芝居の様子 (志摩市提供)



安乗の人形芝居でつかわれている人形 (安乗人形芝居保存会提供)

安乗の人形芝居を見たい人は、志摩市観光協会のWebページにある「歳時記」のバナーをクリックしてみよう。

<http://www.kanko-shima.com>

## 人形つかい、太夫、三味線の役目

### 人形遣い



三人で一つの人形を生きているように動かすのよ！これが、むずかしいんだって。

主遣い  
左手で顔の部分を持って  
右手で人形の右手を  
遣うんだよ。

足遣い  
足遣いの人、膝があるように見せるんだって！

左遣い  
右手で人形の左手を動かします。小道具も出し入れます。



主遣いは下駄をはきます。

足遣い  
人形の両足を動かす人です。



これが床本だよ

太夫は人物のせりふや人形の動きを全て1人でかたるんだって！床本には、物語がのっているけど、むずかしくて読めない～

女役の人形には、原則として足はついてないよ。ただし、物語によっては足をつける場合もあります。



### 女役

もみじ手

### 立ち役



顔の部分「首」といいます。

一つの人形は、3～15キロの重さがあるそうです。長い物語の時は大変だね～

掴み手

足

### 太夫



この台は見台といっています

### 三味線



三味線の音だけで色々な気持ちを表現するの。すごいでしょ！

## あ の り し ば い ま も どう 安乗の人形芝居を守る活動

あ の り し ば い  
安乗には、安乗人形芝居保存会という会があり、安乗の人形芝居を  
ま も  
守っていくための活動をしています。

あ の り し ば い ほ ぞ ん ま つ  
保存会の人たちは、安乗神社のお祭りで、安乗人形芝居を行うため  
に、5月ごろから祭りの前日まで、夜に練習しています。そして、年  
れん し ゅ う  
に1度、ぎじゅつ 上 の た め に お お さ か  
に1度、ぎじゅつ向上のために大阪に行き、学んでいます。

あ の り し ば い  
また、祭りでは、安乗小学校の4年生から6年生の児童も、人形  
げき (※1) を行うので、学校に指どうに行きます。それだけでなく、近く  
の小学校や中学校に行き、あ の り し ば い  
安乗人形芝居について児童生徒に伝える  
活動もしています。

※1…あ の り  
安乗小学校の人形げきでは、大人のつかう人形より一回り小さい人形をつかいます。

## 《人形げきをしている児童へのインタビュー》

Q. あ の り し ば い  
安乗の人形芝居のいいところは、どんなところですか。

A. 人形を三人であやつるのはたいへん  
大変だけど、気持ちの一つになると、  
人形を生きているみたいに動かせるところです。

Q. これからも人形芝居を続けたいですか。

A. 人形芝居をみんなでやりとげたときは最高の気分です。あ の り  
安乗の人形芝居は、安乗の自まんです。わたしも保存会に入って続けたい  
と思っています。



あ の り  
安乗神社の祭りでの児童の発表 (志摩市立安乗小学校提供)

- ふるさとのよさを見つけて大切に
- 友だちと仲よく助け合って

## 《安乗人形芝居保存会の人からのお話》

安乗人形芝居は一体の人形を三人で動かします。三人の息が合うと人形は生きてるように動きますが、息を合わさないと人形が生きてきません。初めて参加した人も、終わった後、観客からたくさんのはく手をもらい、感動でなみだを流していました。人形芝居は、仲間とともに芝居をつくり上げていく、その達成感がいいですね。

わたしたちは、小学校や中学校に人形芝居の指どうに行っています。それは、安乗にもどって安乗人形芝居をやってくれる人を育てたいからです。メンバーの中には、仕事を休んで行っている人もいます。

これからも、安乗人形芝居がずっと続いていくように、多くの人に安乗人形芝居を知ってもらい、人形芝居を守っていきたいと思います。

## 考 え て み よ う

- 1 安乗の人形芝居は、いつ、どこで、だれによって行われますか。
- 2 安乗の人形芝居で、人形つかい、太夫、三味線のそれぞれの役目の人のすごいと思うところはどんなところですか。
- 3 安乗の人形芝居のよさは、どんなところだと思いますか。
- 4 安乗人形芝居保存会の人、なぜ、児童生徒に安乗の人形芝居を伝える活動をしているのだと思いますか。
- 5 安乗の人形芝居が、400年以上も続いてきているのはなぜだと思いますか。
- 6 あなたの地いきにも伝えていきたい昔から続いている行事などがありますか。調べてみましょう。



なばりし 名張市

# 今も活やく 知恵<sup>え</sup> を出し合い<sup>ろ</sup> につくった水路

## みの はた みはた ひら 美濃波多 (美旗) 新田を開く

なばりし 名張市では、約 340 年前に作られた「新田水路」で運ばれる水が、  
今でも新田地区の米作りに欠かせません。

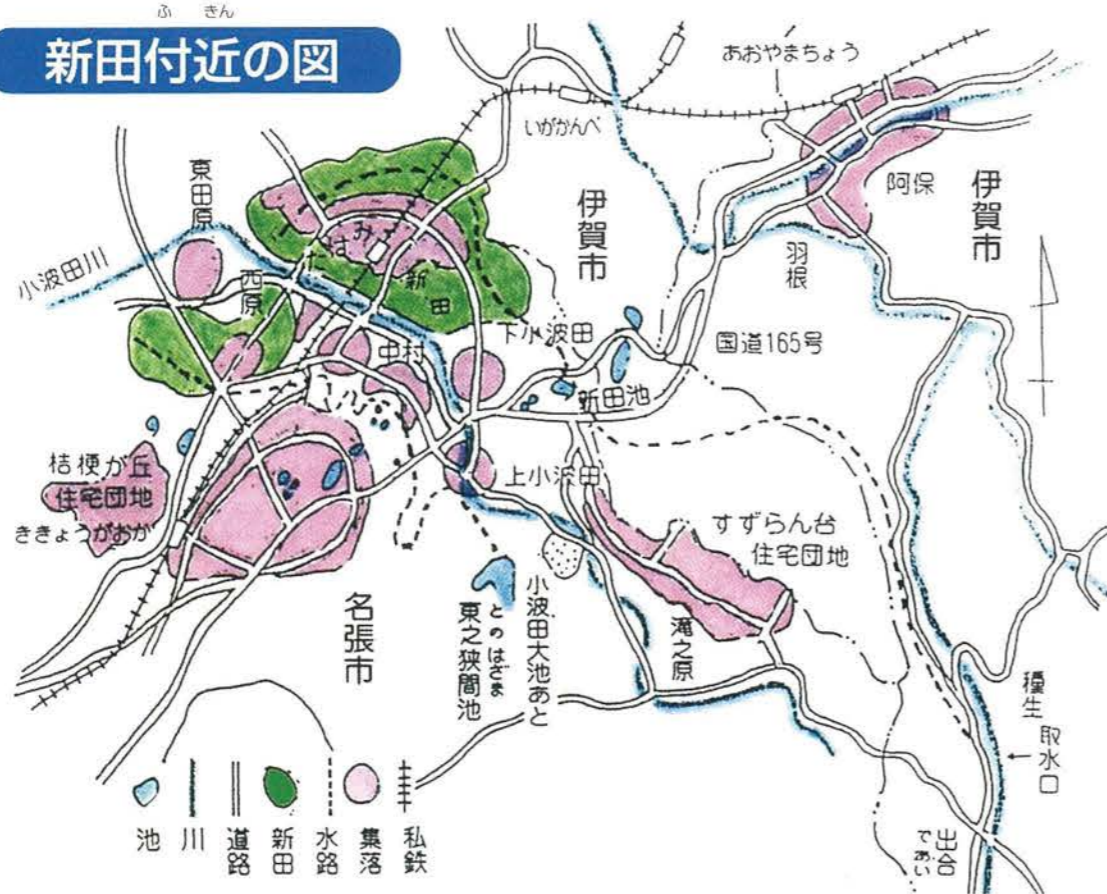


新田水路にかかわる人たちの願いを考えてみましょう。

なばりし 名張市には、広い土地がありながら、水がえられないために水田  
を開けないところがたくさんありました。「水さえあれば。」という  
のが、この地いきに住んでいる人たちみんなの願いでした。



### 新田付近の図



### 新田開発<sup>かいはつ</sup>に乗り出す

なばりし 名張市の北西部にある美旗小学校や美旗古墳群のまわりは、昔  
「美濃が原」とよばれた一面の野原でした。この野原が開かれ今の  
ようになりっぱな田畑ができたのは、350 年ほど前のことです。  
藤堂藩の命令で、この地の開こんを進めたのが、加納直盛と直堅  
の親子でした。

### 二つの池をつくる

伊賀の奉行をしていた直盛は、伊賀の国には田が少ないので、  
もっと田を開こうと思い、あちらこちらを見て回り、美濃が原に  
目をつけました。ところが、美濃が原は、小高いおかの上であり、  
川が流れていません。田にするには、なんとかして水を引かなければ  
なりません。

そこで、滝之原と上小波田に二つの池をつくる計画を立て、  
伊賀中から数万人を集め、東之狭間池と大池をつくりました。  
さらに、この池から水を引き、約 100 ヘクタールの田を開き、  
200 戸ほどの家が建つようになりました。

しかし、せっかくでき上がった二つの池にも、つつみが切れたり  
水が足りないというなやみが出てきました。

## 池にかわる用水路（新田水路）

そこで、直堅は、約 15 km もはなれた伊賀市の高尾から川の水を引く計画を立て、用水路（新田水路）をつくることにしました。

今のような道具や機械がなかった上に、いくつもの山をこえて水路をつけるため、たいそうむずかしい工事になりました。夜中にちょうちんや松明の明かりを使って水路のかたむきを決めたり、水不足にそなえて水路のど中に池（新田池）をつくったり、いろいろな知恵を出し合いながら進めました。約 2 年かかり、完成したといわれています。

これにより開こんが進み、田がたくさんつくられるようになりました。

※松明…しょう明として使うために、手で持てるようにした火のついた木切れなど。



ちょうちんで水路のかたむきをはかる（想像図）

## 歴史ある水路を未来へ

今でも新田地区の農業用水の多くは、新田水路でまかなわれています。新田地区の人たちは今も力を合わせて、この大切な水路を守っています。

田植え前の4月初めごろには、水路をきれいにします。また、4月から8月末まで原そく週2回、毎日二人一組で、伊賀市の高尾から新田までの約15 kmを歩いて、水路の見回りをしたり、水もれを直したりします。



大切な用水を田に引くための新田水路

先人たちが守ってきた水路や田んぼをしっかりと守り、未来に残すことがわたしたちの使命です。



新田地区の人

「わたしたちの名張市」(名張市教育委員会)、ほかから作成

## 考 えて み よ う

- 1 現在、美濃波多新田となっている土地は、以前はどんな場所でしたか。
- 2 美濃波多新田のたくさんの田んぼは、どのようにして開かれたのですか。また、その時、どのような苦労や工夫をしましたか。
- 3 二つの池や新田水路をつくった人たちは、どんな気持ちで工事に参加していたと思いますか。
- 4 どうして、新田地区の人は、水路や田んぼを守ることが、使命だと思っているのだと思いますか。
- 5 あなたの町にも、守っていきたいと思う場所がありますか。また、なぜ守っていきたいと思うのですか。

# 自然に感謝し

# 自然とともに生きる



おわせ  
尾鷲ヒノキ

おわせし  
尾鷲市

おわせ  
尾鷲地方の林業は歴史が古く、しかも全国的にも有名な木材の産地です。



おわせ  
尾鷲ヒノキの特ちょうを知り、尾鷲ヒノキのすごいところを考えてみましょう。

右の文は、「ふるさと三重かるた」にのっている「尾鷲ヒノキ」のよみふだです。

また、下の写真は「尾鷲ヒノキの森」を写したものです。

このよみふだや写真から、みなさんは、どんなイメージを思いうかべましたか。



おわせ  
尾鷲ヒノキの森 (尾鷲市市有林)

も  
森の香りが  
つまってる

おわせ  
尾鷲地方は、雨がとても多く、あたたかいところで、周りには多くの山が連なっています。一方、山のしゃ面は急で土の栄養もあまりないので、木が成長するにはきびしい場所となっています。

しかし、その中でじっくりと時間をかけ、じょう夫に育ったヒノキは、「尾鷲ヒノキ」として有名になり、尾鷲地方は昔から山の仕事（林業）がさかんでした。

なえ木を育て、しつの良い木材にするため、「えだ打ち」の作業や、しかなどの動物の食害から木を守るためにネットをはる作業などを行い、じっくりと時間と手間をかけて育てられています。

家を建てる時の材料などに使われます。

ヒノキ特有のかおりがします。

関東大震災のときに尾鷲ヒノキの柱を使った建物はこわれることが少なかったんだって。

切り口に見えるあざやかな赤みが特ちょうです。



おわせ  
尾鷲ヒノキの森  
(東紀州・尾鷲ひのきの会提供)

ゆっくりと長い年月をかけて育った「尾鷲ヒノキ」は年輪がきめこまかく、油分が多く光たくがあります。

「わたしたちの尾鷲市」(尾鷲市教育委員会)、ほかから作成

また、最近では、さまざまなせい品に尾鷲ヒノキが使われています。



尾鷲ヒノキで作った弁当箱とおひつ、カップ  
〔ぬし熊〕提供



尾鷲ヒノキで作ったコサージュ  
(NPO法人 海虹路提供)

昔から「尾鷲わっぱ」と呼ばれる  
弁当箱はあるけど、カップや皿、スプーン  
もヒノキで作るのがおもしろいね。

ヒノキをコサージュにする  
アイデアがおもしろいね。

また、尾鷲市には熊野古道の世界遺産登録を記念して、熊野古道  
センターが建てられました。熊野古道にふさわしい木の建物とするため、  
尾鷲ヒノキなど地元の材料を使用しています。熊野古道センターでは、  
尾鷲ヒノキを使ったもの作り教室などが行われており、体験することも  
できます。



熊野古道センター  
(尾鷲市提供)

ふか 深めよう!! 尾鷲ヒノキ  
~ひとくちメモ~

## 尾鷲市で、山の仕事を おじさんに話を聞いてみました

「尾鷲では6けんの製材工場があり、約37人の人が働いています。山の仕事（林業）をしている人は、全部で80人ほどですね。」

「昔からさかんだった林業だが、今はいろいろ問題があるね。尾鷲のすぎやヒノキは有名だけど、最近（さい）は外国の木を使うことが多くなったので、前のようには売れなくなってきました。また、山で働く人も、だんだんへり、60才以上（い）の人が多くなってきました。」

「でも、新しい工場をつくったり、林道をふやしたり、もっと林業のことを勉強したりして、働く人をふやす努力もしています。」

「わたしたちの尾鷲市」(尾鷲市教育委員会)、ほかから作成

### 考 え て み よ う

- 1 あなたのまわりにある木で作られたものをたくさんさがしてみましよう。
- 2 尾鷲ヒノキは、どんなところで、どのように育てられていますか。
- 3 尾鷲ヒノキのよさは、どんなところだと思いますか。
- 4 どうして、尾鷲ヒノキを使った新しいせい品（ひん）が作られるようになったのだと思いますか。
- 5 尾鷲ヒノキの他にも、自然（ほかに）が生み出したすばらしいものをさがし、調べてみましょう。
- 6 山の仕事をしているおじさんは、これから山の仕事をどのようにしていきたいと考えていると思いますか。

# むかし 昔のすがたを今に 木でつくられた船



もろとぶね みふねまつり  
諸戸船・御船祭

紀宝町の諸戸船は、三重県のたからとしてみんなで守ろうとしてい  
ます。  
なぜ、諸戸船を守ろうとしているのでしょうか。



諸戸船は、戦国時代に活やくした、海で戦う水軍の中心  
的な船に、にています。  
海で戦うには、すばやく動く必要があります。そのため、  
船の横はばが、せまくなっています。広いところでも 2.1 m  
しかありません。

もろとぶね  
諸戸船

今、祭りで使われてい  
る諸戸船は、1932年  
につくられたものです。



全体の長さ 44尺5寸 (13.4m)

さんだんぼせん  
三反帆船



さんだんぼせん  
三反帆船  
(紀宝町提供)

三反帆船も、昔、よく熊野川で使われ  
ていた、木でつくられた船です。  
二つの船の先たんをくらべてみよう。



Q. どうして、諸戸船は三反帆船にくらべ、先たんが立っているの  
でしょうか？

A. 波やうねりのある海でも、うまく進むことができるからです。諸戸船は、  
船の先たんの部分がとがっていて、波を切るのに都合がよくなってい  
ます。この形は、くじらやかつおをとっていた船にみられる形です。

みふねまつり  
御船祭

毎年10月16日に熊野速玉大社の「御船祭」が行われます。諸戸船は、この祭りの中で、熊野速玉大社の神様を乗せた船をひっぱって案内するという重要な役目を担当しています。諸戸船には、鶺鴒地いきの人たちが乗りこみ、ハリハリおどりをを行います。



この船に神様を乗せて運ぶそうです。神幸船といえます。

もろとぶね しんこうせん  
諸戸船が神幸船を案内しているところ  
(紀宝町教育委員会提供)

この赤い衣しょうを身につけた人が、かい（船をこぐための道具）を回して船の行く手をはるかに見わたすしぐさの「ハリハリおどり」をします。

ハリハリおどりや御船祭についてもっと知りたい人は、三重県のWebページにあるインターネット放送局を見よう。

<http://www.pref.mie.lg.jp>



御船祭では、みこしで運ばれてきた  
 神様は、熊野川の川原で神幸船にうつ  
 されます。諸戸船は、その神幸船をひ  
 きながら、熊野川にある御船島を3周  
 し、川向こうに案内します。右の写真  
 の島が、御船島です。



諸戸船が神幸船をひいて、御船島を回っている様子  
 (紀宝町提供)



早船競漕 (紀宝町提供)

左の写真は、みこしから神様が神幸  
 船にうつされるのを合図に行われる船  
 のレースの様子です。このレースを  
 「早船競漕」といいます。

広報きほう (紀宝町)、ほかから作成

## 考 え て み よ う

- 1 諸戸船の特ちょうはどんなところですか。
- 2 諸戸船は、どんなときに活やくしていますか。
- 3 御船祭の特ちょうは、どんなところですか。また、どうして、そのような特ちょうがあるのだと思いますか。
- 4 どうして、諸戸船を守ろうとしているのだと思いますか。
- 5 あなたの町にも、地いきのたからとして守っていきたいものがありますか。調べてみましょう。

# 三重県心のノート

小学校3・4年

平成26年3月発行  
発行者 三重県教育委員会

---

著作権所有 三重県教育委員会  
〒514-8570 三重県津市広明町13番地

---

